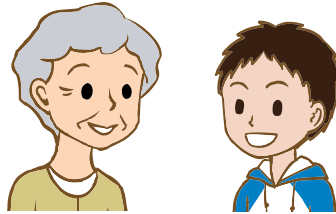


# 住民学習会

人権啓発の柱となる活動のひとつが、地域の主体的活動として実施されてきた**住民学習会**です。

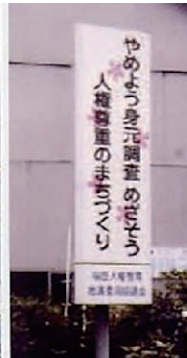
さまざまな人権問題や地域課題を多様な学習形態で学び、参加者一人ひとりが自分自身の課題として受けとめ、お互いの人権が認めあえる地域のまちづくりを進めるための重要な話合いの場になり、「身元調査お断りステッカー運動」など、具体的な取組に結びついています。

住民学習会は1980年（昭和55年）から始まったんじゃよ。もう30年以上続いとるんじゃ。



学習は続けることが大事なんですね。

# 学習から行動へ

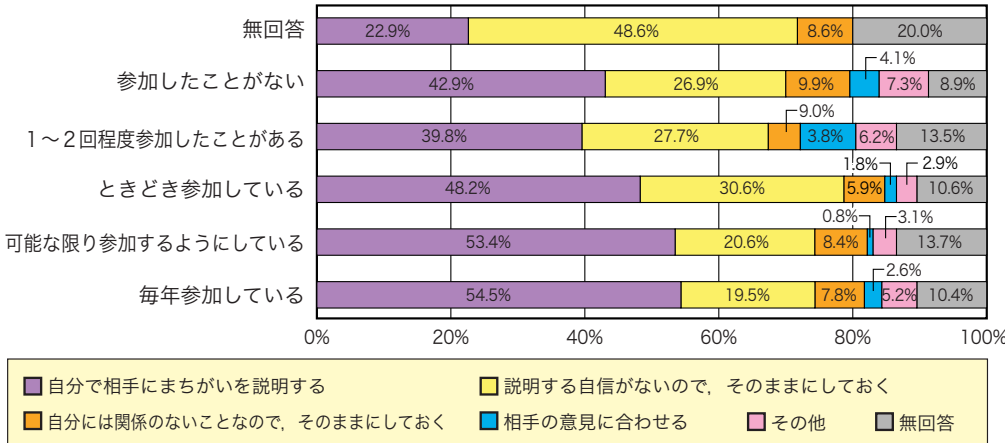


# 地域で学習を深めあう

2010年度に実施した「人権尊重のまちづくりに関する意識調査」では、住民学習会の参加状況と差別言動への対応の関係について、職場や地域、家庭の中でさまざまな人権問題について差別的な言動があったとき、「相手にまちがいを説明する」という人は、住民学習会へ参加したことがない人と、毎年参加している人では、参加回数が増える程多くなっています。（グラフ1）参加回数が多い人ほど、差別を容認することなく、自分で差別的言動に対応する割合が高くなっています。

住民学習会の参加状況と差別言動への対応

グラフ1



い人と、毎年参加している人では、参加回数が増える程多くなっています。（グラフ1）参加回数が多い人ほど、差別を容認することなく、自分で差別的言動に対応する割合が高くなっています。

ち

ふ

く

や

ま

